

# 廃炉・汚染水対策において顕著な功績をあげた作業チームへの感謝状授与

厳しい作業環境下において困難な課題に果敢に挑戦し、顕著な功績をあげた作業チームに対して、内閣総理大臣、経済産業大臣及び経済産業副大臣（原子力災害現地対策本部長）名の感謝状を授与。



作業チームメンバーと総理との懇談会

## 内閣総理大臣感謝状

- 授与対象者：以下の企業等の工事チームメンバー  
(株) 東芝 福島第一原子力作業所  
東芝プラントシステム(株) 福島第一安定化作業所  
(株) 富永工業

福島第一原発3号機原子炉建屋カバーリング工事JV  
山田工業(株) 福島営業所  
(株) 横河ブリッジ 福島第一原子力発電所作業所

- 工事件名：  
3号機原子炉建屋使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けたオペレーティングフロアの線量低減工事  
及び燃料取り出し用カバー設置工事

- 工事概要：  
使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けた、建屋5階（オペフロ）の除染及びドーム型屋根の設置。遠隔操作で実施した除染作業では、装置の搬入を行う作業ヤードでも線量が高い厳しい環境の中、最適な除染方法を模索しながら、訓練の徹底による被ばく低減や交代要員の計画的な育成により、3年以上の長期プロジェクトを完遂。人が近づけないほど高かった燃料プール周辺の線量は、短時間であれば有人で作業可能な水準まで低減し、事故後初めて原子炉建屋での遠隔除染作業に成功。また、プール内への鉄骨落下による燃料損傷を絶対に避けるという厳しい要求に応え、無事故でドーム屋根設置作業を完遂。燃料が溶け落ちた炉で初めて、燃料取り出しを行う作業環境が整った。



事故直後の3号機



燃料取り出しカバー設置状況

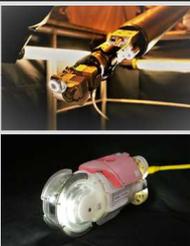


現在の3号機

# 廃炉・汚染水対策において顕著な功績をあげた作業チームへの感謝状授与

## 経済産業大臣感謝状

- 授与対象者：以下の企業の工事チームメンバー  
東芝エネルギーシステムズ(株) PCV内部調査チーム  
東芝プラントシステム(株) 福島第一安定化作業所  
東芝電力放射線テクノサービス(株) 福島第一事務所  
(株) Orano ATOX D&D SOLUTIONS 福島営業所



遠隔操作ロボット

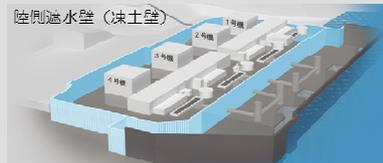
- 工事件名：  
2, 3号機原子炉格納容器内部調査
- 工事概要：  
燃料デブリ取り出しに向けた原子炉格納容器内部の状況把握のための調査。  
2号機では、炉心の直下部分にカメラが到達し、事故後初めて燃料デブリと推定される堆積物の状況を確認。  
3号機では、事故後初めて炉心直下部分の映像を取得し、格納容器の損傷状況や炉心から落下したと推定される構造物を確認。



2号機内部調査では燃料デブリと推定される堆積物を確認

- 授与対象者：以下の企業の工事チームメンバー  
鹿島建設(株) 東京土木支店工事第5グループ 福島第一凍土遮水壁工事事務所  
ケミカルグラウト(株) 福島第一凍土遮水壁工事事務所  
カジマカトロエンジニアリング(株) 福島連絡事務所

- 工事件名：  
凍土方式遮水壁設置工事
- 工事概要：  
地下水を「汚染源に近づけない」対策の1つとして、1～4号機原子炉建屋・タービン建屋を取り囲むように凍土方式の遮水壁を造成。地下水パイプ、サブドレン等も含む重層的な対策の結果、1日あたりの汚染水発生量は、対策実施前の約540m3から約180m3まで低減。



凍結管設置作業状況

凍土壁確認状況

## 経済産業副大臣（原子力災害現地対策本部長）感謝状

- 授与対象者：以下の企業の工事チームメンバー  
(株) アトックス 福島復興支社 (株) 松永エンジニアリング  
(株) 澤建 (株) 矢内総建 早川工業(株)

- 工事件名：  
1号機タービン建屋内滞留水除去のための線量低減工事

- 工事概要：  
中長期RMのマイルトーンの1つである建屋内滞留水処理完了に向けた取組。建屋内の狭い通路を通過できる小型ロボットの開発により遠隔操作による床面除染を実施。滞留水汲み上げに必要な排水ポンプ設置を行う作業エリアの線量を最大約75mSv/hから約1mSv/hまで低減。



遠隔操作ロボット

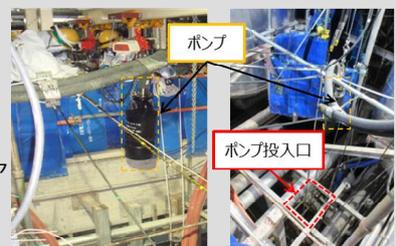


避け林

- 授与対象者：以下の企業の工事チームメンバー  
日立GEニュークリア・エナジー(株) 福島現地事務所  
(株) 日立プラントコンストラクション 福島原子力復興工事作業所  
サンテック(株) 共栄電装(株)

- 工事件名：  
1号機タービン建屋内滞留水排水設備設置および同関連除却工事

- 工事概要：  
高線量の地下階の滞留水を汲み上げるためタービン建屋最下階に排水ポンプを設置。遠隔で干渉物を回避・撤去しながら狭いエリアでの作業を完遂し床面露出を達成。これにより1号機タービン建屋内の滞留水除去を達成。



ポンプ投入の様子

地下中間階の狭い部を回避

地上階からの遠隔作業